



ニュースリリース

平成28年12月21日

千葉大学医学部附属病院

県内初 千葉大学病院で脳死肺移植を実施し無事終了しました

千葉大学医学部附属病院（病院長 山本修一 千葉市中央区亥鼻 1-8-1）で、12月16日（金）脳死肺移植の第1例目が実施され、無事に終了しました。

脳血管障害で当院入院中の50歳代女性が12月15日（木）9時10分、臓器移植法に基づく脳死と判定され、当院で治療中の20歳代女性に肺移植（両側肺）が行われました。

20歳代女性は心臓から肺に血液を送る肺動脈の血圧が高くなり、心臓と肺の機能に障害をもたらす肺高血圧症で、脳死肺移植を受けるため日本臓器移植ネットワークに登録しており、今回の手術に至りました。

12月16日（金）早朝よりドナーの摘出手術が始まり、両側肺が摘出されました。移植手術は、当院の呼吸器外科 吉野一郎教授が中心となり、約30名体制で午前9時から、約9時間にわたり行われ無事に終了しました。

現在、集中治療室において24時間体制で監視しており、容態は安定しています。

〔吉野一郎教授（呼吸器外科長）のコメント〕



「千葉県では初めての脳死肺移植(両側肺)を行いました。
肺高血圧症を伴う場合の移植の術後管理は難しくなりますが、現在移植肺は機能しており、患者さんの状態は落ち着いています。」

本件に関するお問い合わせ先
千葉大学医学部附属病院
呼吸器外科 教授 吉野一郎
Tel : 043-222-7171(代表)
内線 (5464)

取材に関するお問い合わせ先
千葉大学医学部附属病院
総務課広報係 坂本・長尾・丸山
Tel : 043-226-2225 Fax : 043-224-3830
E-mail : xae6025@office.chiba-u.jp